

令和3年度 決算の報告

令和の都太宰府！ 主な事業

問い合わせ 経営企画課 企画政策係(☎内線535)

「コロナ危機を乗り越え公約を実現する積極的集大成予算」に沿って、次のような事業を行いました。

交付できるように整備しました。

毎日午前6時30分～午後11時まで全国の主要コンビニエンスストアで取得できます。

経済活性化・財政健全化

ふるさと納税改革事業 決算502,475千円

ふるさと納税による寄附拡大を図るため、返礼品の拡充、ふるさと納税サイトの増設、寄附金使途の明確化、広告・プロモーションの強化、企業版ふるさと納税の受付開始、クラウドファンディングの活用などの取り組みを展開し、寄附受入額が前年度比約2.1倍の9億円超を達成しました。

第2の戦略 太宰府型全世代居場所と出番構想(移住定住戦略)

新たな生活様式

広報戦略関係事業 決算38,214千円

利用者にとって、より探しやすい・分かりやすい・見やすいホームページとするためリニューアルを行いました。

ホームページやSNSなどによるタイムリーな情報発信、市民の意見箱へのオープンかつスピーディーな対応、広報だざいふの更なる充実を図りました。

市公式LINEやdボタン広報誌、動画による配信など、状況に応じた多様なツールで効果的な情報発信を行いました。



新たな生活様式

ICTを活用した先進教育推進事業 決算129,304千円

GIGAスクール構想の推進により教職員の研修やサポート体制の充実、指導者用デジタル教科書の導入など、ICTを活用した授業づくりを行いました。

個別学習や家庭学習を含め、タブレット端末を利用した学習を推進しました。

新たな生活様式

STEAM教育の推進事業 決算181千円

市民間企業と連携して、小学校でプログラミング教材を用いたオンライン授業を推進し、夏休みなどの長期休暇にプログラミングやものづくり、科学体験といった学びの場を提供しました。

新たな生活様式

中学校ランチサービス利用拡大事業 決算1,107千円

ランチサービスに先進的に取り組む自治体や事業者の調査研究、中学校在校生と小学校6年生の試食会を行うなど、内容の充実や児童生徒への魅力の周知で、ランチサービスの利用拡大を図りました。



第1の戦略 太宰府の底力総発揮構想(成長戦略)

経済活性化

回遊型観光ルート活用促進事業 決算13,494千円

民間事業者と連携しながら滞在型観光PR動画を制作し、中長期滞在型旅行者の市内への取り込みを図りました。

市ホームページのリニューアルに併せてまほろば号で市内を巡る複数のモデルコースを作成・掲載し、周知しました。

古民家や門前町周辺の建物の改修などに助成し、歴史の街なみ整備による観光客の増加を図りました。

経済活性化

令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクト推進事業 決算7,947千円

太宰府の梅の価値に改めて注目し、民間事業者や福岡農業高校と連携し、梅を使った新製品を開発しました。その製品を新たな地場みやげ産業として振興し、ふるさと納税にも登録することで、税収の増加を図りました。

梅の木の植栽や市内生産者への補助により、原材料となる農産物の可能性拡大に寄与しました。

本事業はクラウドファンディングなどにより事業費の一部を寄附金で賄いました。



経済活性化

起業創業支援、地域地場産業育成・活性化事業 決算288,361千円

さらなる融資の円滑化と貸付額の増加に向け、本市の融資預託額を増額しました。また、創業者と既存事業者へ財政的な支援の充実を図るとともに、市民の生活応援と地域経済回復のためにプレミアム付地域商品券事業を行いました。

新たな生活様式

市域西側における各種証明書の交付事業 決算2,640千円

住民票、所得課税証明書などの各種証明書の交付窓口を、とびつめアリーナに隣接したスポーツ振興事務所内地域包括支援サブセンターで毎月第2・第4日曜の午前中に「にしのまどぐち」として開設し、利便性の向上と緊急時に備えた窓口機能の分散強化を図りました。



新たな生活様式

各種証明書のコンビニ交付事業 決算34,863千円

マイナンバーカードを利用して住民票、所得課税証明書などの各種証明書をコンビニエンスストアのマルチコピー機で

密集対策として交通情報案内システムを積極的に整備・活用し、市内の主要交差点のライブカメラ映像や駐車場の満空情報をリアルタイムで発信することで、渋滞解消を図りました。

人口増加で、今後交通渋滞が懸念される国分・坂本地区の道路整備の調査・検討を行いました。

第4の戦略 1300年の歴史に思いを致す持続可能な太宰府構想(行財政改革戦略)

新たな生活様式

安心・安全のまちづくり事業 決算72,978千円

ハザードマップの更新や現行のコミュニティ無線の更新、プラム・カルコア太宰府敷地内と梅香苑地域の防火水槽移設工事など、市民の安心・安全を守るための避難対策やハード整備を行いました。



財政健全化

庁内ICT事業 決算62,246千円

シンクライアントシステム、住民情報に係る基幹系システム、GIS(地理情報システム)と市ホームページなどを更新し、ICT環境の再構築を図りました。

自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進するため、総務省の地域情報化アドバイザー派遣事業を活用し、意見をもらいました。

経済活性化

中心市街地活性化検討事業 決算2,750千円

本市域と近隣自治体を含めた鉄道駅周辺地域の各種都市機能の立地分布状況などを整理し、中心市街地の活性化に向けた基礎資料の作成を行いました。

鉄道会社と連携を図りながら活性化手法などを検討しました。

経済活性化

市内生活道路整備拡大事業(太宰府版ニューディール事業) 決算83,779千円

側溝蓋掛け工事や交差点改良工事などの生活道路改良工事を、計画の前倒しなどで事業を拡大し実施しました。

経済活性化

河川改修事業(太宰府版ニューディール事業) 決算4,950千円

高尾川周辺は集中豪雨時の河川氾濫による道路冠水などの被害が発生しており、地域住民の安心・安全を確保するため、改善に向けた高尾川改修検討のための調査を行いました。

経済活性化

公共下水道整備事業(太宰府版ニューディール事業) 決算23,472千円

下水道マンホールの老朽化した蓋を更新し、一部の地区には令和発祥の都PRキャラクターをデザインした蓋を設置して、公共下水道のPRを図りました。



太宰府版ニューディール事業とは

市民の生活環境の改善と新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込む経済の活性化対策として行う事業

新たな生活様式

子育て世代包括支援センター事業 決算20,745千円

母子保健と子育て支援それぞれの部署で対応していた子育て世代への支援を、ワンストップで対応する子育て世代包括支援センター「うめっこテラス」を新たに開設し、妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目ない支援の充実を図りました。

新たな生活様式

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業 決算3,656千円

福岡県後期高齢者医療広域連合と市の関係課で連携し、地域の健康課題の把握や、保健師などの専門職による高齢者への個別支援、高齢者が集う「通いの場」などへの積極的ななかかわりなどを組み合わせながら、保健指導、フレイル予防などの健康教育、適切な受診勧奨などを行いました。

新たな生活様式

不登校児童生徒支援事業 決算45,015千円

不登校児童生徒などが学ばずばさ学級の在籍者数が増加しているため、プラム・カルコア太宰府を利用し、第2つばさ学級を定期的に開設することで児童生徒への更なるきめ細かい支援を行いました。

第3の戦略 令和発祥の都にふさわしい大太宰府構想(圏域拡大戦略)

経済活性化

史跡100年プロジェクト事業 決算10,864千円

前年度中止となった全国史跡整備市町村協議会の太宰府大会をオンラインで開催しました。史跡指定100年の記念事業として、本市の誇る史跡を改めて内外に知らせ、本市の取り組みや提言を全国に向けて広く発信しました。

これからの100年先を見据えた文化財の保存活用を意欲的、計画的に推進するために文化財保存活用地域計画の策定を進めました。



財政健全化

史跡地管理事業 決算37,915千円

史跡の維持管理と史跡整備を効果的に進めました。令和2年度の地方分権改革推進提案で実現した史跡地の規制緩和を生かし、梅の実や花など、史跡管理のために生じる廃棄材を有効活用しました。

経済活性化

キャラクターを使ったシティプロモーション事業 決算1,824千円

関係人口の創出・拡大に向けて、令和発祥の都PRキャラクターの旅人のたびと・れいわ姫・おとものタビットを活用したグッズの製作など、シティプロモーションを積極的に展開しました。

排気量125cc以下の原付バイクのナンバープレートに同キャラクターをデザインし、新規・変更登録で希望者へ交付を開始しました。



経済活性化

市内幹線道路渋滞対策事業 決算10,858千円